

かりゆし58 前川真悟さん

かりゆし58のボーカルとしての活躍に留まらず、近年では、ソロ活動や、企画プロデュースなど活動の幅を広げる前川さん。八重瀬町出身である彼に町の魅力と思い出を聞きました。

■八重瀬町での思い出を教えてください。

忘れたこともたくさんありますが(笑)少年野球での思い出が印象的です。私は、白川小学校に通っていたのですが、当時、1学年3クラスくらいずつの普通のクラス数だったのですが、野球の町内大会があると隣の東風平小学校と合わせて各団地から20チームくらいが出場して。当時は、どの子どもも大体、どこかの少年野球チームに所属していたので、大会の時には大盛り上がりでしたよ。

■八重瀬町の良いところを教えてください。

先ほどの少年野球の話の続きになりますが、当時、少年野球を通して、先輩からいいことも悪いことも教わったり、子どもが子どもの面倒を見ながら肌で人間関係や社会というものを感じていました。コーチがいるチームもあったのですが、基本、平日は公民館で子どもたちだけで集まって練習していたので、子どもが育つにはとても良い環境だと思います。今では、僕が通っていた時より優秀な生徒が小学校から誕生したりもしているのです。そういった良質な子育て環境の蓄積により年々子どもたちの質も上がっているように感じますね。

■近年で八重瀬町との関わりを教えてください。

コロナ禍になって少し間は空いしまつていますが、母校である白川

小学校で、夏休みに親子レクとして星空観測会が開催された時に星空を見ながらライブをしたり、知り合いの消防士の仲間とプロジェクトセッションを開いたり、とにかく、自分の地元や母校を使って、エンターテインメントを提供してきました。子どもたちの描く絵日記がその日だけは、皆一緒のことみたいなので、マンガの一コマみたいで何かいいじゃないですか。なので、これからも町からオファーが頂けるなら、地元の行事にも参加していきたいです。

■最後に読者の皆さんへメッセージをお願いします。

八重瀬町が誕生したのと、かりゆし58のバンド結成がほぼ同じ年代で、僕らは、毎日暮らす八重瀬町の景色が全てだったし、それをスケッチするように音楽を作ってきました。自分たちが暮らしてきた時と比べると色々とは発展を遂げていますが、東風平には自然豊かな田園風景があり、具志頭には美しい海が今でもあります。景色はもちろん、音楽面においても、古くから伝わる伝統芸能も盛んで、深い歴史と共に受け継がれてきました。それを含めて、八重瀬町は、昔から色褪せない素敵な魅力で溢れているので、地元の方はそれを再認識しながら、県内外の方へも発信して欲しいですね。

時代は流れても
変わらぬもの
それが町の魅力

前川真悟(まえかわ しんご)

1981年沖縄県八重瀬町生まれ。4人組バンド「かりゆし58」のボーカル、ベース、ギターを担当。2006年発表の「アンマー」で日本有線大賞新人賞。2018年、前川商事を設立し、企画プロデュース・楽曲提供など活動の幅を広げる。